

[1]次の(1)~(10)の文章には、それぞれの下線部(a)~(d)に1つだけ誤りがある。その記号を答え、また文意が適切となるように正しい語句を記入せよ。

(1) ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、前3000年頃(a) シュメール人が、ウル・ウルク・ラガシュなどの都市国家を形成した。前24世紀にはセム系の(b) アッカド人がこれらの都市国家を征服したが、やがてセム系の(c) アラム人が古バビロニア王国をおこし、前18世紀頃の(d) ハンムラビ王の時代に繁栄した。

(2) 前2000年頃から前1500年頃にかけて、南ロシアの(a) インド=ヨーロッパ系の民族が大移動をおこし、これらの一つである(b) ヘブライ人は、鉄器を用いてメソポタミアに侵入し、古バビロニア王国を滅ぼした。その後もメソポタミアでは、同じ言語系統の(c) カッシート人や(d) ミタンニ王国などが勢力を競いあった。

(3) 古代エジプトでは、新王国時代の前14世紀半ばに、首都(a) メンフィスの神官勢力がファラオの権力をおびやかすほどとなったので、(b) アメンホテプ4世は旧来の神々を廃して、(c) アトーン神の信仰を強制し、首都を(d) テル=エル=アマルナに遷し、ファラオの権力の強化をはかった。

(4) エジプトでは、(a) プトレマイオス朝時代の前2世紀に、(b) ロゼッタ=ストーンが制作された。その碑文には3種類の文字が使われており、神聖文字や民衆文字(民用文字)に加えて、(c) フェニキア文字も刻まれていたため、フランス人考古学者(d) シャンポリオンによる神聖文字の解読が可能となった。

(5) エーゲ海域では前3000年頃にエーゲ文明がおこった。この文明はまず(a) デロス島を中心に栄えたが、前1600年頃から、ギリシア本土の(b) ミケーネやティリンスが文明の中心地となった。しかし、この文明は前1100年頃から(c) 鉄器を持ってこの地域に来住した(d) ドーリア人によって破壊され、数世紀間は混乱の時代が続いた。

(6) 当初ギリシアのポリスでは貴族が政治を支配していたが、やがて(a) 重装歩兵として国防と軍事で活躍した平民が参政権を要求しはじめた。前6世紀初めのアテネでは(b) ソロンが貴族と平民の争いを調停し、その後(c) ペイシストラトスのような僭主も現われたが、前6世紀末の(d) テミстокレスの改革で民主政治に近づいていった。

(7) 前5世紀にギリシア世界と(a) アケメネス朝との間にペルシア戦争が行なわれた。戦後のアテネでは(b) マラトンの海戦で活躍した無産市民も政治に参加できるようになり、成年男子市民の出席する(c) 民会が政治上の最高機関となり、(d) ペリクレスの指導の下で民主政治が完成した。

(8) ローマでは前4世紀に(a) リキニウス=セクスティウス法が制定され、大土地所有の制限と(b) コンスルの1人は平民から選ばれるようになった。また前3世紀の(c) 十二表法では、平民会の議決が(d) 元老院の承認なしに国法と認められるようになり、平民と貴族の政権争いは一応の決着をみた。

(9) 前3世紀以降、地中海に進出したローマとフェニキア人の植民市(a) カルタゴの間に、3度にわたる(b) ポエニ戦争が起こった。ローマでは長期化した戦争の結果、(c) 重装歩兵として活躍した自作農が没落し、奴隷を使役する大土地経営農業の(d) コロヌス制が発展した。

(10) 前1世紀後半、平民派の(a) カエサルと大富豪の(b) グラックスは、ポンペイウスと共に第1回三頭政治を行なった。その後カエサルの養子(c) オクタヴィアヌスは、アントニウスなど他の有力者を倒し、元老院から(d) アウグストゥスの称号を得て、ローマは帝政の時代に入った。

[2]次のヨーロッパ中世に関する文章を読み、下線部に関する設問に答えよ。

西ヨーロッパでは4, 5世紀頃からの約1000年間を中世と呼ぶ。中世の前半には(a) ゲルマン民族の大移動、(b) ヴァイキングの活動、(c) イスラム勢力の攻勢などの混乱の中、封建制と(d) 荘園制を基礎とする封建社会が徐々に成立していった。またこの間、ローマ教会は(e) ビザンツ皇帝から自立し、(f) 権威を高めていった。

中世の中頃になると社会が安定し、農業生産が高まって人口も増加し、西ヨーロッパは外部世界へ向かって発展し始めた。この動きの一つが(g) 十字軍運動である。また、商業も活発となり、(h) 中世都市が多数成立した。

しかし商業、都市の発展とともに(i) 封建社会は崩れ出し、騎士階級が没落して国王が強大となった。こうして(j) イギリス、フランスなどでは中央集権が進み、絶対主義へと向かっていった。

問1 下線部(a)について 彼らが移住するアルプス以北のヨーロッパに、紀元前後まで広く住んでいた民族を、次の中から1つ選び番号で答えよ。

ギリシア人 ラテン人 ケルト人 スラヴ人

問2 下線部(b)について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

リューリクはロシアに進出し、ゲルマン人の国々を征服してノヴゴロド公国を建てた。

ロロはフランス全土を征服し、ノルマンディー公国を建てた。

クヌートはイングランドを征服し、ノルマン朝をたてた。

ノルマンディー公国の貴族は南イタリアとシチリアを征服し、両シチリア王国を建てた。

問3 下線部(c)と中世ヨーロッパとの関わりについて述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

フランク王国のカルル大帝は、イスラムの軍隊をトゥール・ポワティエ間の戦いで破った。

トマス=アキナスは、イスラム世界などから伝えられたギリシア哲学も取り入れてスコラ学を大成した。

イタリア商人はイスラム商人から香辛料などを輸入し、主に金や絹織物などを輸出した。

スペインとポルトガルの連合軍がナスル朝の都グラナダを占領し、レコンキスタを完成した。

問4 下線部(d)について、当時の農民の立場に関して述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

武器となるため、農具の所有は認められなかった。 移転の自由を持ち、別の荘園に移ることができた。

教会に対しても、十分の一税という税金を負担した。 領主の裁判に不服があれば、国王に訴えることができた。

問5 下線部(e)に関して、ビザンツ帝国を含む東ヨーロッパの中世の状況について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

ビザンツ帝国でも、西ヨーロッパと同じく、貨幣経済が衰え、教会勢力の強大化がみられた。

ポーランドではヤゲウォ朝が成立し、ギリシア正教の一中心として栄えた。

キプチャク=ハン国から自立したモスクワ大公イヴァン3世は、農奴解放を推し進めた。

バルカン半島ではセルビアが大きな勢力となったが、オスマン帝国に征服された。

問6 下線部(f)に関して、1077年にカノッサで神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世を屈服させた教皇を、次の中から1つ選び番号で答えよ。

レオ3世 グレゴリウス7世 インノケンティウス3世 ボニファティウス8世

問7 下線部(g)について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

十字軍は教皇ウルバヌス2世がコンスタンツ公会議で提唱した。

第1回十字軍は聖地を占領し、イエルサレム王国を建てた。

第3回十字軍はサラディンを破り、ラテン帝国を建てた。

第4回十字軍はジェノヴァの要求でコンスタンティノーブルを攻めた。

問8 下線部(h)について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

商人ギルドでは当初、大商人が運営を独占したため、手工業者が分離をはかった。

同職ギルドは手工業者の集まりで、自由競争によって技術・品質の向上をはかった。

ドイツでは皇帝が帝国都市を支配下におき、皇帝権を徐々に強化していった。

都市内部では住民が平等で、「都市の空気は自由にする」ということわざも生まれた。

問9 下線部(i)の時期の状況について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

領主はより多くの貨幣を求め、地代を生産物や貨幣でとるようになった。

イギリスでは農民たちがジャクリーの乱を起こし、領主に対して地代の減額を要求した。

ドイツでは地代の支払い義務のない、独立自営農民が多数出現した。

フランスのフィリップ4世は王権を強化し、三部会を閉鎖した。

問10 下線部(j)の国の中世の状況について述べた文として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

ノルマン朝時代にはフランスよりも王権が弱かったが、徐々に強化された。

ジョン王はフランス王フィリップ2世と争い、多くの領土を失った。

シモン=ド=モンフォールは国王を破り、大憲章を認めさせた。

百年戦争の終了時にテューダー朝が成立し、中央集権化が推し進められた。

[3] 15～18世紀にかけてのヨーロッパに関する次の設問に答えよ。

問1 宗教改革に関して述べた次の文のうち、正しいものを1つ選び番号で答えよ。
エラスムスは、『愚神礼賛』を著してカトリック教会を擁護する一方、ルターの活動を批判した。
宗教改革の中で、16世紀前半には宗教裁判が廃止され、地動説を唱える者に対する迫害もなくなった。
イギリスでは、エリザベス1世の時代にイギリス国教会が確立された。
カトリック教会は、対抗(反)宗教改革の一手段として、すべての修道会の廃止にのりだした。

問2 16世紀後半にフランスで起こったユグノー戦争に関する次の文のうち、正しいものを1つ選び番号で答えよ。
この戦争では、ユグノーと呼ばれるカトリック教徒とカルヴァン派が対立していた。
この戦争中に起こったサン=バルテルミの虐殺で、多くのカトリック教徒が殺された。
スペインは旧教国でありながら、カルヴァン派側にたってこの戦争に介入した。
ナントの勅令で信仰の自由が認められ、この戦争(内乱)は終息した。

問3 次の図版は三十年戦争を風刺したものである。図版の右側で手をつないで踊るグループの中に幼少のルイ14世が描かれており、一方左側には、ハプスブルク家側の諸勢力が踊っている。フランスとハプスブルク家の対立関係は15世紀末にはじまるイタリア戦争にも見られる。イタリア戦争に関して述べた次の文のうち、正しいものを1つ選び番号で答えよ。

この戦争は、ヨーロッパにおける主権国家体制形成のきっかけの一つとなった。
(図版) 出典：岩波講座『世界歴史16』

この戦争中、フランスのヴァロワ家が神聖ローマ皇帝位を独占していた。

この戦争中、オスマン帝国のスレイマン1世はハプスブルク家と同盟を結んだ。

この戦争の後、メディチ家の勢力が拡大し、ルネサンスの中心はフィレンツェに移った。

問4 ルイ14世のもとでフランス絶対王政は最盛期を迎えた。これに関する次の文のうち、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

王室に仕えたボシュエが王権神授説を説いて、絶対王政を正当化した。

イギリスに比べて常備軍や官僚制が発達せず、フロンドの乱などの内乱をまねいた。

ルイ14世が財務長官にコルベールを登用し、重商主義政策を展開した。

ルイ14世の時代に、バロック様式のヴェルサイユ宮殿が造営された。

図版 1

問5 図版右手で床に倒れている人物について説明している文を1つ選び番号で答えよ。

三十年戦争のきっかけとなるベーメンの新教徒の反乱を、指導してやぶれたミュンツァーである。

三十年戦争の時期に起こった革命の中で、フランスに亡命したイギリス国王ジェームズ2世である。

新教徒側の傭兵隊長として活躍し、旧教徒に暗殺されたヴァレンシュタインである。

新教徒の保護を名目としてドイツに侵入し、戦死したスウェーデン国王グスタフ=アドルフである。

問6 図版中央手前で背を向けている二人はスイス諸邦を示している。三十年戦争の講和条約によってスイスは独立を認められるが、この条約を次の中から1つ選び番号で答えよ。

カルロヴィッツ条約 ウェストファリア条約 カトー=カンブレジ条約 ユトレヒト条約

問7 図版右端で踊りのようすを眺めているのは、オスマン帝国のスルタンである。オスマン帝国について述べた以下の文のうち、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

バルカン半島のキリスト教の子弟を徴用し、イエニチェリと呼ばれるスルタン直属の常備軍を編成した。

帝国領内のキリスト教徒やユダヤ教徒などに、ミットと呼ばれる共同体をつくらせ、その内部で自治を認めた。

ウラマーを養成するため、マドラサが多数設置され、イスラム法に基づく統治が徹底された。

16世紀前半のプレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアにやぶれて以降、地中海の制海権を失った。

問8 三十年戦争の終結した17世紀半ば以降、オーストリア・プロイセン・ロシアの隆盛が目立つようになる。これに関連して、プロイセンがオーストリア継承戦争で獲得した地域を次の中から1つ選び番号で答えよ。

シュレジエン ザクセン ブランデンブルク バイエルン

問9 第1回ポーランド分割に関わったオーストリア・プロイセン・ロシアの君主の正しい組み合わせを次の中から一つ選び番号で答えよ。

	オーストリア	プロイセン	ロシア
	ヨーゼフ2世	フリードリヒ=ヴィルヘルム1世	ピョートル1世
	マリア=テレジア	フリードリヒ2世	ピョートル1世
	ヨーゼフ2世	フリードリヒ2世	エカチェリーナ2世
	マリア=テレジア	フリードリヒ=ヴィルヘルム1世	エカチェリーナ2世

問10 ユンカーについて正しく説明した文を、次の中から1つ選び番号で答えよ。

領主に解放金を払って農奴身分から解放された、オーストリアの独立自営農民である。

大農場を経営し、軍部や官僚の中心的地位を占めたプロイセンの地主貴族である。

17世紀に、農奴制の強化に対する大反乱を起こした南ロシアの逃亡農民である。

オーストリア・プロイセン・ロシアに共通する農場領主制のもとで、土地に固定された農民のことである。

[4] 19世紀の欧米世界に関する下の年表を見て、次の設問に答えよ。

フランス	ドイツ	イタリア	アメリカ
1830 (a) <u>七月革命</u> 1848 (b) <u>二月革命</u> 1852 第二帝政 1853～56 クリミア戦争	1848 『共産党宣言』発表 1848～49 [A] 国民議会 1866 普墺戦争 1870～71 普仏戦争 1871～80 (c) <u>文化闘争</u> 1882 三国同盟成立 1887 三帝同盟消滅 1887 (d) <u>再保障条約締結</u>	1849 ローマ共和国建設 (失敗) 1861 イタリア王国成立 1870 [B] 併合	1848 ゴールド=ラッシュ 1861～65 (e) <u>南北戦争</u> 1869 大陸横断鉄道開通

- 問1 下線部(a)の革命の影響を受けたものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 神聖同盟の成立 シュタイン・ハルデンベルクの改革 デカブリストの乱 ベルギーの独立
- 問2 下線部(b)の革命後、国立作業場の設立に努力した社会主義者を、次の中から1人選び番号で答えよ。
 サン=シモン フーリエ プルードン ルイ=ブラン
- 問3 [A]はドイツ統一と全国憲法制定のための自由主義者からなる国民会議が開かれた都市である。その都市を次の中から1つ選び番号で答えよ。
 ベルリン ミュンヘン フランクフルト ウィーン
- 問4 [B]に当てはまる地域はどれか、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 ローマ教皇領 ヴェネツィア トリエステ 南チロル
- 問5 下線部(c)は南ドイツとビスマルクの間の政治的闘争で、主に宗派の違いによるものであった。南ドイツで、有力であった宗派は何か、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 カトリック ギリシャ正教 カルヴァン派 ルター派
- 問6 ドイツ宰相ビスマルクは、フランスの孤立をはかった外交において、さまざまな同盟や条約を結んだ。年表内の(d)の相手国を、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 イタリア オーストリア アメリカ ロシア
- 問7 下線部(e)の戦争の間の出来事として正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 カリフォルニア獲得後、合衆国は太平洋への関心も高まり、日本に圧力をかけ開国させた。
 フランスのナポレオン3世は、メキシコの内乱に介入した。
 アメリカ先住民(インディアン)の土地が奪われ、フロンティアが消滅した。
 シモン=ボリバルがベネズエラの独立運動を指導した。
- 問8 この年表の時代に、イギリスでは選挙法改正や様々な改革が進んだ。この時期の君主は誰か、次の中から1人選び番号で答えよ。
 アン女王 ヴィクトリア女王 ウィリアム3世 ジョージ3世
- 問9 この年表の時代のイギリスに関して誤っているものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 保守党のディズレーリが、対外膨張策をとった。
 自由党のグラッドストーンがアイルランド自治に努めた。
 労働組合法で、組合運動が合法化された。
 男女の普通選挙を求めるチャーチスト運動が展開された。
- 問10 この年表の時代の科学技術の成果ではないものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。
 モールス信号の考案 電話の発明 ラジオ放送の開始 ダイナマイトの発明

[5]次の文章を読み、下線部に関する各設問に答えよ。

インドでは4世紀前半に、ガンジス川中流域を中心に(a) グプタ朝がひらかれた。グプタ朝はチャンドラグプタ2世の時に最盛期で、中国の僧(あ)がインドを訪れたのもこの王の時であった。グプタ朝では仏教と並んで(b) ヒンドゥー教が信奉され定着した。グプタ朝以降、民間の仏教信仰は衰えるが、仏教研究は盛んで、(c) グプタ様式と呼ばれる純インド的な仏教美術も完成した。またグプタ朝はインド古典文化の最盛期で、サンスクリット文学が栄え、カーリダーサは(い)をはじめ多くの作品を残した。グプタ朝は5世紀後半以降衰退し、特に中央アジアから遊牧民の(d) エフタルが侵入すると国内は分裂した。7世紀初め、ハルシャ=ヴァルダナは再び北インドを統一し、ヴァルダナ朝をたてた。しかしこの王朝は、ハルシャ=ヴァルダナの死後分裂し衰える。

- 問1 下線部(a)のグプタ朝以前のインドの王朝に関して、正しい文を次の中から1つ選び番号で答えよ。
マウリヤ朝の建国者であるチャンドラグプタは、インドの南端を除く全インドを統一した。
サータヴァーハナ朝のアショーカ王は、ダルマ(法)による統治を望み、それを刻んだ石柱碑を各地に建てた。
クシャーナ族が建てたクシャーナ朝の中心はガンジス川流域で、カニシカ王の時に最盛期に達した。
クシャーナ朝のカニシカ王は仏教を保護したが、この時代の仏教は従来とは違い、広く万人の救済を目的とした。
- 問2 文中の空欄(あ)と(い)にあてはまる語句の組み合わせで正しいものを1つ選び番号で答えよ。
あ - 法顕 い - 『シャクンタラー』 あ - 法顕 い - 『ラーマヤナ』
あ - 玄奘 い - 『ラーマヤナ』 あ - 義浄 い - 『マハーバーラタ』
- 問3 下線部(b)のヒンドゥー教に関して、誤りを含む文を次の中から1つ選び番号で答えよ。
ヒンドゥー教は、バラモン教をうけついで成立した宗教である。
ヒンドゥー教には、特定の開祖はいないが唯一の教典が存在する。
ヒンドゥー教では、シヴァ神やヴィシュヌ神が多くの信仰をあつめている。
ヒンドゥー教は、現在までインド人の宗教の主流となっている。
- 問4 下線部(c)に関してグプタ様式の壁画が多数描かれた石窟寺院は何か、次の中から1つ選び番号で答えよ。
ボロブドゥール アジャンター アンコール=ワット ナーランダ
- 問5 下線部(d)のエフタルは6世紀に突厥と結んだササン朝ペルシアによって滅ぼされるが、エフタルを滅ぼしたササン朝最盛期の国王とササン朝の国教は何か、正しい組み合わせを次の中から1つ選び番号で答えよ。
シャープール1世 - ゾロアスター教 シャープール1世 - マニ教
ホスロー1世 - マニ教 ホスロー1世 - ゾロアスター教

インドでグプタ朝がひらかれた頃、中国は分裂期であった。4世紀初めに(e) 内乱で衰えていた晋が異民族に滅ぼされると、華北は五胡十六国の乱世となった。この混乱時代に有力となった(う)は、(f) 北魏を建国して、5世紀前半には華北を統一した。北魏から北朝が始まる。一方、(g) 江南では華北から移住してきた貴族たちが、晋の一族を擁立して東晋を建国した。5世紀前半に東晋が滅びた後は短命な4王朝(南朝)が興亡する。

このような南北朝の分裂を589年に統一したのが隋である。618年に成立した唐は隋の諸制度を受け継ぎ、第二代太宗(李世民)の政治は(え)とたたえられた。第三代高宗時代には、(h) 唐の勢力は中央アジア全域にまで拡大するようになる。

- 問6 下線部(e)の晋に関して、誤りを含む文を次の中から1つ選び番号で答えよ。
晋は、魏の家臣であった司馬炎がたてた王朝である。
晋は、江南の蜀を滅ぼして中国を統一した。
晋の都は、魏と同じく洛陽におかれた。
晋では、帝位をめぐる内乱である八王の乱がおこった。
- 問7 文中の空欄(う)と(え)にあてはまる語句の組み合わせで、正しいものを1つ選び番号で答えよ。
う - 鮮卑 え - 開元の治 う - 匈奴 え - 開元の治
う - 鮮卑 え - 貞観の治 う - 匈奴 え - 貞観の治
- 問8 下線部(f)の北魏に関して、誤りを含む文を次の中から1つ選び番号で答えよ。
北魏の孝文帝は、土地制度である均田制と村落制度である三長制を実施した。
北魏の孝文帝は、自民族の服装や言語を禁止するなど漢化政策を実施した。
北魏の孝文帝は、都を洛陽から北の平城に移した。
北魏では、寇謙之によって道教が大成された。
- 問9 下線部(g)に関して、この時代の六朝文化を代表する人物を次の中から一人選び番号で答えよ。
王羲之 顔真 李白 班固
- 問10 下線部(h)の唐代の国際関係に関して、誤りを含む文を次の中から1つ選び番号で答えよ。
朝鮮半島では新羅が唐の勢力を排除して、朝鮮半島で最初の統一国家をつくった。
中国東北地方では、7世紀末に渤海国が建てられ、唐の諸文化を積極的に受け入れた。
唐はトルコ系の遊牧民族の突厥を服属させ、その統治のためモンゴル高原や中央アジアに都護府をおいた。
チベットでは、ソンツェン=ガンボが南詔を建国し、唐との親交を結んだ。

[6] 次の ・ の文章を読み、各設問に答えよ。

10世紀初め、ウイグルに服属していたモンゴル系の契丹は遼を建国し、モンゴル高原に勢力を伸ばした。その後、遼は東方の(あ)を滅ぼす一方で、(い)の建国を援助して燕雲十六州を得た。(a)中国統一後の宋は、この地の奪回を図ったが成功せず、遼と澶淵の盟を結んだ。またチベット系のタングート族が建国した西夏にも、毎年の歳賜を約束した。遼の支配下で力をつけていったツングース系の女真族が建国した(b)金は、宋と結んで1125年に遼を滅ぼした。そして1126～27年には金が開封を占領して(c)宋の皇帝と皇族を北方に連行し、いったん宋は滅亡した。その後再建された南宋は、金に臣下の礼をとり、歳貢を贈ることで和平を保つこととなった。

問1 (あ)と(い)に入る適切な国名の組み合わせを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

渤海 - 後晋 渤海 - 後梁 渤海 - 後周
大理 - 後晋 大理 - 後梁 大理 - 後周

問2 下線部の(a)に関して 外交費の増大などによって、11世紀後半、宋の国家財政が悪化した。この当時の宋の内政について記した次の文の中で、正しいものを1つ選び番号で答えよ。

欽宗の信頼を受けて宰相となった王安石は、新法と呼ばれる富国強兵策を実施した。
新法の1つ青苗法とは、小農民に官有地を割り当てて耕作を保障する代わりに、税収の確保を図ったものである。
新法の1つ募役法とは、募兵制に代わる兵農一致策で、農閑期に軍事訓練をして民兵の養成を図ったものである。
『資治通鑑』を著した司馬光は、新法に反対する旧法党の中心人物で、後に新法を廃して旧法を復活した。

問3 下線部(b)に関して この国の王重陽が開いた道教の一派で、儒教と仏教(とくに禅宗)の要素を取り入れ、華北に広まった教えを何というか、答えよ。

問4 下線部(c)に関して この時、金に捕らわれた前皇帝で、画院を保護し、自らも画才があって『桃鳩図』を描いた人物は誰か、答えよ。

問5 下線部(d)に関して 南宋時代の出来事について述べた次の文の中で、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

南宋の初期、金との徹底抗戦を主張した武将の岳飛を宰相の秦檜が処刑している。
儒学者の朱熹は、理気二元論や、君臣関係を正そうとする大義名分論を唱え、五教よりも四書を重視した。
朱熹の思想に反対し、「性即理」を主張した陸九淵の思想は、明代の王陽明に受け継がれた。
会子とは、北宋時代に大都市の金融業者が発行していた手形を、南宋期に紙幣として認めたものである。

元末の紅巾の乱から現れた朱元璋は、明帝国を建て、元をモンゴル高原に追った。(e)明は、中国史上初めて江南から起こって中国を統一した王朝である。(f)華中・華南の経済力・農業生産性が華北をしのぐものとなっていたことを示すものである。その後、(g)北虜南倭と呼ばれる外患などで明の勢力が弱まると、女真族が明の北方に後金を建てた。やがて後金は国号を清と改め、明が滅亡した後、北京に入城した。こうして清が、中国で最後の統一王朝となったのである。

問6 下線部(e)に関して 永楽帝が都を南京から北京に遷したが、彼が燕王の時に、南京を攻略して帝位を奪った事件を何というか、答えよ。

問7 下線部(f)に関して 明代になると、長江中流地域での米の生産が、下流一帯での生産をしのぐようになった。このようすを「()熟すれば天下足る」という。()にあてはまる語句(漢字2文字)を記せ。

問8 下線部(g)に関して これについて述べた次の文の中で、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

15世紀中頃、エセン=ハンに率いられ全モンゴルを支配したジュンガル部は、明を破り、明の英宗を捕らえた。
16世紀中頃、アルタン=ハンに率いられた韃靼(タタール部)は、しばしば明に侵入し、北京を包囲したこともある。
朝鮮・中国沿岸を掠奪した海賊や商人団を倭寇と呼んだが、16世紀のいわゆる後期倭寇は、中国人が中心であった。
朝鮮では、豊臣秀吉の朝鮮出兵を「壬辰・丁酉の倭乱」と呼ぶが、この時の明の皇帝は万曆帝である。

問9 後金が建国され、清と国号を変えて北京に遷都するまでの出来事について述べた次の文の中で、正しいものを1つ選び番号で答えよ。

女真族を統一し、後金を建てたヌルハチは、八旗について、綠營という正規軍を組織した。
ホントイジは、内モンゴルのチャハル部を平定し、その後、李氏朝鮮を服属させた。
順治帝の時代、鄭成功の乱で明が滅亡すると、清は呉三桂の協力を得て北京に入城し、中国統一につとめた。
ドイツ出身のイエズス会宣教師アダム=シャルは、明末清初の宮廷で活躍し、『幾何原本』を作成した。

問10 次の4つの中から、康熙帝の時代の出来事として、正しくないものを1つ選び番号を記せ。

ネルチンスク条約の締結 軍機処の設置 地丁銀制の開始 三藩の乱

[7]次の(1)～(6)の文章は、それぞれあるイスラム王朝(国家)を説明したものである。それぞれの王朝(国家)名を答えよ。また、あとの設問に答えよ。

(1)この王朝はシーア派イラン人の軍事政権で、のちバグダードに入城し、カリフからイスラム法を施行する権限を与えられた。また、(a)各人の俸給額にみあう金額を徴収できる土地の徴税権を軍人に与え、直接、農民や都市民から徴税させる制度を初めて採用した。

(2)この王朝は、都を(あ)におき、カリフを世襲とした。聖戦を通じて勢力を広げ、フランク王国とも戦った。この王朝は、アラブ人が多くの特権がもっており、アラブ人以外の者はたとえイスラム教に改宗してもアラブ人のイスラム教徒と平等な権利を与えられることはなかった。

(3)北アフリカの先住民ベルベル人が建設したこの王朝の都は、(い)にあった。この王朝は、キリスト教徒による国土回復運動に対抗してイベリア半島に進出するとともに、(b)西アフリカの黒人王国ガーナを滅ぼし、サハラ以南のアフリカ黒人世界のイスラム化への道をひらいた。

(4)スンナ派のこの王朝は、シーア派のイスラム王朝を破り、カリフから初めてスルタンの称号を与えられた。この王朝はその後、エルサレムを含むシリアの海岸地帯に進出し、さらにビザンツ領を圧迫したため、西欧諸国が十字軍をおこす一因となった。

(5)この国家は、ビザンツ帝国につづいてエジプトのイスラム王朝をも滅ぼし、メッカやメディナの保護権を獲得した。また、ウィーン包囲を契機に、(c)外国人に領内での居住や通商の自由などの特権を認めた。

(6)アフガニスタンに建設されたこの王朝は、ガズナ朝にひきつづいてインド侵入をくりかえした。やがて、この王朝の将軍がデリーに自立して、インド最初のイスラム王朝をひらき、その後ムガル帝国の建国までに5つのイスラム王朝が北インドに成立した。

問1 下線部(a)の制度を何というか。次の中から1つ選び番号で答えよ。

プロノイア制 アター制 イクター制 テマ制

問2 文中の(あ)・(い)にあてはまる地名の組み合わせで正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

あ - カイロ い - グラナダ あ - カイロ い - マラケシュ
あ - ダマスクス い - グラナダ あ - ダマスクス い - マラケシュ

問3 下線部(b)に関連して、ガーナ王国滅亡後、この地に成立した黒人イスラム国家を、次の中から1つ選び番号で答えよ。

ソングイ王国 アクスム王国 クシュ王国 モノモタパ王国

問4 下線部(c)に関して述べた次の文のうち、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

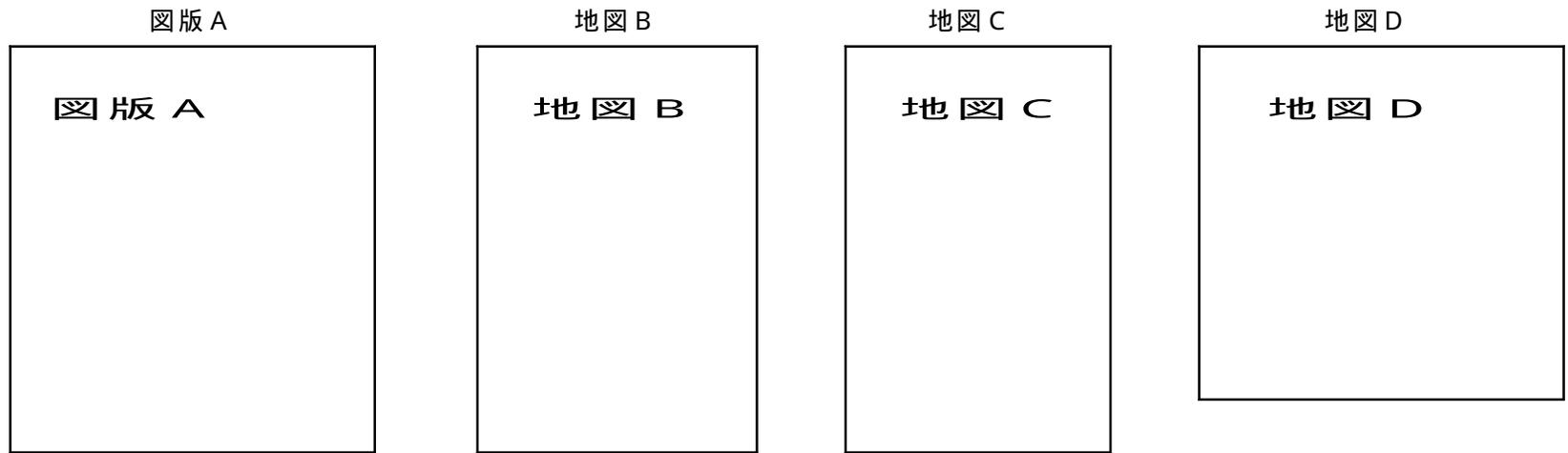
この特権を最初に認めたスルタンは、スレイマン1世である。

この特権を最初に与えられたのは、イギリス人である。

この特権をカピチュレーションという。

この特権は、のちに西欧諸国による干渉の足がかりとなった。

[8] 次の図版 A は、20 世紀初頭の「中国という菓子（ケーキ）を分割する列強」という帝国主義政策の風刺画である。この風刺画に関して、地図 B ～ D を見て、各設問に答えよ。



出典：山川出版社『世界の歴史』

問 1 図版 A の諸国の中で、ドイツ・フランスが勢力下においた地域を、地図 B からそれぞれ 1 つずつ選び、地図中の番号で答えよ。

問 2 19 世紀後半から図版 A の時代にかけての中国についての次の文の中で、正しいものを 1 つ選び番号で答えよ。

太平天国の動乱後、清朝は同治帝を中心に天朝田畝制度という新制度を導入して、全国で土地改革を実施した。

漢人官僚を中心に、滅満興漢を唱えて、西洋の軍事技術などを積極的に導入する洋務運動が進んだ。

変法自強運動は、日本の明治維新を範とした立憲君主政の樹立をめざしたものであった。

扶清滅洋をスローガンにした国産品愛用や日本などの外国製品排斥運動は、中国民族資本の要求とも合致していた。

問 3 図版 A の中の(あ)国は、他の諸国に比べて中国進出に後れを取った。そこで他の諸国の中国分割を牽制するため門戸開放・機会均等・領土保全の 3 原則を提唱した。この門戸開放宣言を発表した国務長官名を、次の中から選び番号で答えよ。

マッキンレー セオドア＝ローズヴェルト ジョン＝ヘイ セシル＝ローズ

問 4 図版 A の中の(あ)国は中国以外での帝国主義政策としておこなったスペインとの戦争の結果、多くの地域を併合した。それに含まれていないものを、次の中から 1 つ選び番号で答えよ。

ハワイ グアム フィリピン プエルトリコ

問 5 イギリスの図版 A 以外の地域での帝国主義政策の動きについて述べた次の文の中で、誤りを含む文を 1 つ選び番号で答えよ。

スエズ運河株買収やアラブ＝パシャの反乱の鎮圧などでエジプトを事実上支配下においた。

金やダイヤモンドが発見されたのを機に、南ア戦争をおこし、オレンジ自由国やトランスヴァール共和国を併合した。

インド大反乱(シパーヒーの反乱)を機にムガル帝国を廃し、やがて自国国王を皇帝とするインド帝国を成立させた。

オスマン帝国からバグダード鉄道敷設権を獲得して、中東方面に進出し、3C 政策を展開した。

問 6 図版 A の中で、日本と「中国というケーキ」の同じ部分を互いに奪い争おうとしている当時のロシア皇帝は誰か、次の中から選び番号で答えよ。

アレクサンドル 1 世 アレクサンドル 2 世 ニコライ 1 世 ニコライ 2 世

問 7 ロシアは図版 A 以前にも中国方面へ進出し、清朝と国境線を画定してきた。地図 C 中の(あ)(い)(う)の三種類の国境線とそれを画定した条約名の組み合わせとして正しいものを、次の中から 1 つ選び番号で答えよ。

あ - ネルチンスク条約 い - アイグン条約 う - 北京条約

あ - アイグン条約 い - ネルチンスク条約 う - イリ条約

あ - アイグン条約 い - キャフタ条約 う - 北京条約

あ - ネルチンスク条約 い - キャフタ条約 う - イリ条約

問 8 ロシアは図版 A 以外では、19 世紀後半、オスマン帝国の衰退に乗じて、バルカン半島へ進出した。地図 D は、露土戦争の際に締結されたサン＝ステファノ条約に関する地図である。オスマン帝国内の自治国としてロシアの保護下に置かれた国名とその所在場所の組み合わせとして正しいものを、次の中から 1 つ選び番号で答えよ。

あ - モンテネグロ あ - ブルガリア い - モンテネグロ い - ブルガリア

問 9 前問 8 の結果、バルカン半島に生じた国際危機を回避するため開催されたベルリン会議で、地図 D の領土はどのように変化したか。次の文の中から正しいものを 1 つ選び番号で答えよ。

地図中(あ)は、ロシアの保護国となり、その領土もサン＝ステファノ条約時よりも拡大された。

地図中(い)は、ロシアの保護国となったが、その領土はサン＝ステファノ条約時よりも縮小された。

地図中(う)は、オスマン帝国からの独立を承認され、パン＝ゲルマン主義拡大の先頭的役割を果たした。

地図中(え)は、オーストリア＝ハンガリー帝国が、その行政管理権を獲得した。

[9]第一次世界大戦後の世界について述べた(1)~(6)の文を読み、設問に答えよ。

(1)第一次世界大戦後成立した国際秩序をヴェルサイユ体制という。

問1 ヴェルサイユ体制に関する次の文のうち、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

敗戦国オスマン帝国の領土のうち、イラク・シリア・ヨルダン・パレスティナは、国際連盟の委任統治という名のもとに、イギリスとフランスの支配下に組み込まれた。

敗戦国ドイツは海外植民地をすべて失い、これらの地域はイギリス・フランス・日本などの戦勝国の間で分配された。

ドイツの弱体化をねらうフランスの意図により、ヴェルサイユ条約はドイツにとって苛酷なものとなり、ドイツは巨額の賠償金を課されるとともに、ルール地方をフランスに割譲させられた。

東ヨーロッパでは、オーストリア・ロシア・ドイツの旧帝国領から、チェコスロヴァキア・ユーゴスラヴィア・ポーランドなどの独立国が生まれた。

(2)第一次世界大戦後、オスマン帝国は著しく領土を縮小され、植民地化の危機に直面していた。トルコ人の抵抗運動が発展する中で(あ)は民族主義勢力を結集して、1920年にアンカラに新政府を樹立した。(あ)は、イギリスのあと押しで侵入していたギリシア軍を撃退し、1923年に連合国との間で改めて(い)を結び、トルコの独立を確保した。この間(あ)は、スルタン制を廃止し、トルコ共和国を樹立して、政教分離とトルコ民族主義に立脚した西欧化・近代化を推進した。

問2 (あ)・(い)に記入すべき語句の組み合わせとして、正しいものを次の中から選び番号で答えよ。

レザー=ハーン - ローザンヌ条約 ケマル=パシャ - ローザンヌ条約

レザー=ハーン - セーブル条約 ケマル=パシャ - セーブル条約

(3)中国では若い知識人あいだに西洋近代思想を取り入れ専制支配を支える儒教など旧思想を批判する新文化運動(文学革命)が展開された。また、ロシア革命への関心の高まりや五・四運動にみられる民衆の反帝国主義闘争の高揚により、新文化運動の中からマルクス主義の研究がおこり、1921年には中国共産党が創立された。

問3 啓蒙活動を展開するうえで重要な役割を果たした雑誌「新青年」を刊行した人物は誰か、次の中から1人を選び番号で答えよ。

陳独秀 袁世凱 康有為 張作霖

問4 「新青年」に寄稿し白話運動を提唱して文学革命の発端となり、文学の大衆化を進めた人物は誰か、次の中から1人を選び番号で答えよ。

梁啓超 孫文 毛沢東 胡適

問5 中国共産党の創立に参加していない人物を、次の中から1人を選び番号で答えよ。

陳独秀 張学良 李大釗 毛沢東

(4)世界大恐慌が深刻化する中でフランクリン=ローズヴェルト大統領が実施した一連の政策は、ニューディールと呼ばれた。

問6 ニューディール政策に関する次の文のうち、誤りを含むものを1つ選び番号で答えよ。

ワグナー法を制定し、労働者の団結権・団体交渉権を保障した。

TVAなど大規模公共事業をおこして、雇用の拡大をはかった。

国家財政の赤字を減らすために、失業保険の給付を削減した。

全国産業復興法により、政府が経済に介入し、生産の調整と価格水準の引き上げをはかった。

(5)ドイツは世界恐慌によって大きな打撃を受けた。産業・経済の崩壊、失業者の増大、社会の激変は政治の反動化をひきおこし、1933年にはナチスが政権を掌握した。ナチス政権は親衛隊やゲシュタポの暴力を用いて、共産党をはじめあらゆる政治勢力・反対派を弾圧し、同年3月には(ア)を成立させて独裁体制を確立した。軍備平等権を主張するドイツは、日本に続いて国際連盟を脱退し、ヴェルサイユ条約に違反して再軍備宣言をおこない、1936年には(イ)を破棄してラインラント非武装地帯に進駐した。一方、ファシスト党の支配下にあったイタリアは、1935年に(ウ)への侵略を開始し、翌年これを併合した。これらの事態によってヴェルサイユ体制は崩壊した。

問7 (ア)に適する語句を次の中から1つ選び番号で答えよ。

社会主義者鎮圧法 全権委任法 ローラット法 国家総動員法

問8 (イ)に適する語句を次の中から1つ選び番号で答えよ。

ロカルノ条約 不戦条約 ラパロ条約 九か国条約

問9 (ウ)に適する語句を次の中から1つ選び番号で答えよ。

アルバニア チェコスロヴァキア リビア エチオピア

(6)スペイン内乱は、ファシズム対反ファシズムの国際的な戦争であった。

問10 スペイン内乱に関する次の文章のうち、誤りを含むものを一つえらび記号で答えよ。

選挙で勝利した反ファシズム勢力により人民戦線政府が成立したが、これに反発する大地主・カトリック教会・大資本家に支えられた軍人フランコらが武装反乱をおこした。

ドイツとイタリアはファシスト反乱軍を支持して、大量の武器・兵員を送った。

イギリスとフランスは一貫して人民戦線政府を支持する政策をとった。

ソ連は政府軍を支持し、また、各国の知識人・労働者が義勇軍として反ファシズムの戦いに加わった。

[10] ヨーロッパでは古くから他地域よりもたらされた多くの産物によって、その生活に大きな変化が見られた。これらの産物に関するA・Bの文章を読み、あとの設問に答えよ。

A 大航海時代を経て、1600年以降、ヨーロッパ各国は東インド会社などを設立し、アジアをはじめとするヨーロッパ以外の諸地域に市場の拡大を積極的に求めた。16～18世紀は、ヨーロッパ各国による海上支配権の抗争をめぐる時代でもあった。

問1 大航海時代以降、ヨーロッパにもたらされたものの中で、アメリカ大陸からもたらされたものでないものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

カカオ コーヒー ジャガイモ トウガラシ

問2 17世紀前半まで、アジアからヨーロッパへ最も多くもたらされた産物を次の中から1つ選び番号で答えよ。

綿花 茶 タバコ 香辛料

問3 17世紀以降、アジアから急激にヨーロッパへもたらされた産物（織物）を次の中から1つ選び番号で答えよ。

麻織物 絹織物 毛織物 綿織物

問4 17世紀前半、バタヴィアを拠点としてアンボイナ事件などを機に海上支配権を握り、中継貿易で繁栄したヨーロッパの国を次の中から1つ選び番号で答えよ。

フランス オランダ スペイン ポルトガル

問5 17～18世紀の数回のヨーロッパ国際戦争には、ある産物をめぐるイギリス、フランスの植民地抗争も背景の1つにあった。両国の抗争の対象となった代表的産物と地域の組み合わせで正しいものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

カリブ海の砂糖 南アメリカの銀 北アメリカの綿花 インドのコシヨウ

B 18世紀以降、イギリスが世界の貿易・海上支配権を確立した。それに伴って、イギリスは大西洋地域とアジア地域でそれぞれに「三角貿易」を形成した。これらの「三角貿易」による物産の流入によってイギリスやイギリス人の生活に大きな変化が生じた。

問6 大西洋での「三角貿易」で、イギリスは黒人奴隷による西インド諸島でのプランテーション開発を進めた。この黒人奴隷はアフリカ大陸のどの地域から多く連れて来られたか。下の地図からその地域を1つ選び番号で答えよ。

問7 茶はイギリス本国以外に北米植民地にも普及した。そして本国は茶法など重商主義政策を推進したが、18世紀後半に植民地側はこれに抵抗して事件を起こした。独立革命のきっかけとなったこの事件が発生した都市名を次の中から1つ選び番号で答えよ。

フィラデルフィア ボストン ヨークタウン レキシントン

問8 19世紀のアジアでの「三角貿易」の形態を表した下の図の空欄（あ）～（う）に適する語句の組み合わせの中で正しいものを次の中から1つ選び、番号で答えよ。

あ - 農作物 い - 金 う - 明 あ - 工業製品 い - 金 う - 明
あ - 農作物 い - 銀 う - 清 あ - 工業製品 い - 銀 う - 清

問9 19世紀半ばになると、砂糖や紅茶は安価となり、産業革命の進展とともに庶民の間に急速に普及した。その背景となった当時の社会の様子で正しいものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

熱湯を使う紅茶の流行の背景には、工業化や都市化による水質汚染も大きく影響している。

自由貿易への要求が高まり、航海法や穀物法が制定された。

蒸気船が開通したばかりのパナマ運河を通過して、茶を大量に輸入できるようになった。

各地にコーヒーハウスが開店し、そこに集う人々の間で仕事や政治などの議論や情報交換が進んだ。

問10 下のグラフはアジアでの「三角貿易」の中、インド産アヘンの輸出額に関するものである。このグラフを見て、正しくないものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

1830年代、アヘン輸出の増加は東インド会社の中国貿易独占権が廃止に伴う、イギリス商人の貿易自由化による。
1840年直前、アヘン輸出が急減しているのは、中国政府の林則徐によるアヘン密輸取り締まり強化政策の実施による。
1850年代後半からのアヘン輸出の急増は、アロー戦争中の天津条約で、中国がアヘン輸入を合法化したことによる。
1880年頃、アヘン輸出がピークに達した時に、中国では義和団事件が起きた。

地図

図

グラフ（インド産アヘンの輸出額）単位は（ポンド）

